

藤原総合文化会館検討専門部会会議録

件名	第8回藤原総合文化会館検討専門部会		
日時	令和5年7月10日(月) 13:30~14:00	作成日	令和5年7月10日
場所	藤原庁舎2階 藤原公民館 会議室	記録者	資産経営課 鈴木
出席者			
<日光市> 鈴木財務部長 植木資産経営課長 高野資産経営課長補佐 資産経営課公共施設マネジメント係職員 4名 細井藤原観光課長 手塚生涯学習課長 杉山生涯学習課文化振興係長 斎藤藤原公民館長		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略)	
議事内容			
<p>■配布資料 第8回藤原総合文化会館検討専門部会 次第、会議資料、部会委員名簿</p> <p>■議事録</p> <p>1. 開会 事務局</p> <p>2. 部会長あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、第8回藤原総合文化会館検討専門部会にご出席いただき、誠にありがとうございます。前回は3月下旬に開催ということで、3月ぶりというようなこととなりますが、本日は第7回会議の振り返り、今年度の部会の進め方等について話し合いをしたいという風に考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>3. 説明事項</p> <p>部会長</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきたいと思います。まず本日もご出席いただいております部会員の数は、「10」名ということで、定足数(過半数)に達しております。会議は成立いたします。また本日は、議事に入る前に傍聴の申し出がございましたので、それを許可したいという風に思いますがよろしいでしょうか。はい、では、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、3の「議事」に入りたいと思います。まず、(1)第7回会議の振り返りについて事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>資料1をご覧ください。ローマ数字1、第7回会議の振り返りについて説明させていただきます。前回の第7回会議において、令和5年度より藤原総合文化会館の方向性について検討を再開することを確認いたしました。検討するテーマは「鬼怒川温泉駅前の活性化について、藤原総合文化会館・鬼怒川温泉旅館組合・図書館の整備を軸とした検討」になっております。</p> <p>次に、検討にあたっての留意事項を確認させていただきます。</p> <p>1つ目、観光情報機能を駅前に残すこと。</p> <p>2つ目、手法は民業圧迫しないことを条件に公民連携を促進すること。</p> <p>公共施設については市民活動の発表の場の確保、フリースペースを前提に検討を進めること。</p> <p>商業施設については、飲食施設を中心に物販も含めて検討していくこと。</p> <p>3つ目、住民、観光客双方から利用されるものを検討すること。</p> <p>4つ目、関係団体との協議を行うこととなっております。</p> <p>第7回会議の振り返りについて、説明は以上になります。</p>			

議事内容**部会長**

はい、ありがとうございます。
みなさんの方から、報告について何かご質問等ございますでしょうか。
特にないようございますが、アドバイザーの先生の方からございますでしょうか。

山本アドバイザー

2番目の「手法は民業圧迫しないこと」、これは前提だと思います。また、公民連携の促進については、民業を逆に発展させるようなことまで盛り込んだほうがいいと思います。例えば新しい飲食のメニューを開発してもらうことも一例と考えます。

それから公共施設については、市民活動とフリースペース前提なんですけど、例えば、よくあるのがホワイトリストと言って、「これは認めます」という形で、それ以外のグレーゾーンはほとんど認めてない現状にあります。アメリカでは、公共施設の利用制限にあたり、ブラックリストで対応している事例もあり、「これはしちやいけない、それ以外なんでもオーケー」という運用をしております。

それ考えると、他の市町で、例えばコスプレの団体は認め、アニメの聖地としてまちづくりをしているところもあり、こういうところを少し推し進めていって、何か特色あるものを打ち出すことも少し付け加えたらいいかなと思います。

部会長

はい、ありがとうございます。西尾先生。

西尾アドバイザー

個別の内容は、議題3のほうでまたやると思いますので、こちらではちょっと省きたいと思います。次の議題かもしれないけれども、今年度から検討を再開すべきということで、全体的なスケジュール感、いつまでに何をするのかというところを、少し確認したいほうがいいかなという気がしました。次のテーマのなかでは、今年度の内容については書かれているのですが、もう少し大きな視点で、いつくらいまでにどんなことをしていくのかというのは、最初に確認したほうがいいのかなと思います。

部会長

はい、ありがとうございます。
事務局のほうで、先生からの意見に補足していただいてよろしいでしょうか。

事務局

おっしゃる通り、今回駅前の活性化という点なので、さきほど山本先生のおっしゃるような程度、地域を活性化するような整備を検討していきたいと思っておりますし、皆様のご意見も聞きながらより良い施設にできるかなと考えています。2つ目の西尾先生からの全体的なスケジュールなんですけど、今回、藤原図書館と一緒に整備していくなかで、藤原図書館はかなり老朽化が進んでいまして、やはり、スピード感をもってやらなくてはいけないという認識はございますが、まずは利用者の方々もいらっしゃるの、今現在どういう風な感じで進めるかというのは、中々言えない部分がありますので、ご協議いただくなかでスケジュールというのは整理したいという考えでございます。

部会長

はい、ありがとうございます。
それでは(1)の振り返りについて、以上になりますが、よろしいでしょうか。
それでは次に進ませていただきます。(2)今年度の部会の進め方について、事務局より説明お願いします。

事務局

資料1、ローマ数字2の表をご覧ください。今年度は計3回の会議を予定しております。
今年度1回目、第8回会議の内容は、ご覧いただいている資料のとおり、第7回会議の振り返り、今年度の部会の進め方、課題の共有、となっております。会議の趣旨としては、鬼怒川温泉駅前活性化にむけて想定される課題を示し、ご意見をいただくものとなっております。

議事内容

第9回会議の内容は、この後ご説明させていただきますが、課題の一つである、鬼怒川温泉駅前の活性化にあたり、住民、観光客双方から利用されるものの検討になります。会議の趣旨としては特別委員会での検討結果を部会員の皆様に報告し、今回の会議の内容を踏まえて、ご意見をいただきたいと考えています。

第10回会議では、駅前整備の取り組み方について協議を行う予定です。会議の趣旨としては駅前整備に関して、市の基本的な考えを示し、ご意見をいただきたいと考えています。

なお、各会議の開催時期は委員会及び議会との調整などにより変更となる場合がございます。

最後に専門部会開催前後の流れについてご説明させていただきます。表の下の部分をご覧ください。専門部会の開催にあたり、まず事務局にて協議内容を整理し、専門部会を開催いたします。専門部会の開催後は、皆様からいただいたご意見を集約し、市議会公共施設等ありかた検討調査特別委員会へ報告させていただきます。その後、次回の部会へ向けて協議内容を再度整理し、部会を開催する。以降、この繰り返しで進めてまいりたいと思います。

以上、今年度の部会の進め方についての説明とさせていただきます。

部会長

はい。ありがとうございます。

ただ今の事務局からの説明に対しまして、みなさんご意見ございましたら、お願いいたします。ございませんか。

それでは、アドバイザーの先生、何かございましたらお願いします。

山本アドバイザー

スケジュールの大枠はこれでいいと思う。例えば、特別委員会のあと、会議をやると思うのですが、7月から11月の間に、なにをやるかが気になる。例えば、住民ニーズを把握するためのアンケートはいつやるのか、どのような内容なのか気になる。

それから、整備の取り組みの考え方の整理、11月の第9回には、その基本的な考えとか、例えば10回目にその辺の整理とか、その間になにをやるかが見えてこなかった。今、ある程度決めているなら、そのへんの考え方も話していただきたい。

部会長

いつまでというのは、いかがですか。

事務局

今回は、今までアンケートを行ったり、専門部会で意見をいただいたものというのをもう一度、この場をお借りして提示して、ご意見をいただくものです。議論から相当時間が経っていますので、過去のものが果たしていいのか、新しい考えがあるのか、それらのご意見をいただき、市において、それをベースにしながら将来どうあるべきかという、ざっくりとした考えを整理し、11月までに議会のご意見もいただきながら、次回の専門部会へ示していきたいと、考えているところです。

そのうえで11月の専門部会において、みなさまのご意見をいただきたいと考えております。それでもまだ決定はできないことなので、市民へのアンケートの手法など、相談させていただければと考えています。そのうえで、将来のざっくりとした方向性だったり目指すべきものを、さきほど西尾先生がおっしゃっていた、ざっくりとした全体的なスケジュールというのを今年度中に整理していきたいというのが、今のところの考えでございます。

部会長

ありがとうございます。西尾先生いかがでしょうか。

西尾アドバイザー

今の山本先生のお話と重なるかもしれませんが、今回の検討というのが、市議会の特別委員会の検討と並行して進めていくというところが、大きな特徴なのかなと思います。しかし、どこで市としての意思決定、何について、どこで意思決定をされていくのかというのをご提案として示していただいたほうが、部会としても、どこで何を協議するのが把握しやすいと思います。もしかしらまだ決定していないのかもしれませんが、そういった市の意思決定がどこでされるのかというのは、ご提示い

議事内容

ただいてもいいのかなと思いました。

部会長

はい、ありがとうございます。

事務局

意思決定の話になるのですが、今年度においては、ある程度の方向性というのを整理しながら、それを構想という形でまとめてあげなくてはいけないかなと考えております。そちらについては、翌年度以降に予算を確保したうえで、進めていくと考えておりますが、どこまで進捗が進むかによっては少しずつれていくと思っているところです。ただ、先ほど申し上げたとおり、藤原図書館というのは相当老朽化しているの、意思決定は早くしたいなというところで考えているところです。

部会長

はい、ありがとうございます。その他、ご意見はございますか。それでは（２）の「今年度の部会の進め方について」はよろしいでしょうか。それでは、続きまして（３）の課題の共有について事務局より説明をお願いします。

事務局

ローマ数字３の部分をご覧ください。

鬼怒川温泉駅前活性化について、部会、市、それぞれが取り組むうえでの課題は、以下の４点であると考えており、それらの課題についてみなさまのご意見を伺い整理したいと考えております。

課題の１つ目は、住民、観光客双方から利用されるものの検討です。

駅前整備の検討にあたっては、本エリアが国内有数の観光地の玄関口であることから、まずは観光客を対象としてアンケートを実施しました。観光客ニーズの視点からは、主に飲食施設・物販施設について検討を進める必要があると捉えています。住民ニーズの視点からは、前回までの部会からいただいた公共施設の整備にかかるご意見を基に住民利用のあり方について検討を重ねてまいりたいと考えております。課題の１に関しましては、観光客、住民、双方のニーズを満たすものについて、引き続き、部会のみなさまよりご意見をいただきたく存じます。

続いて資料３ページをご覧ください。まず、こちらに記載した課題２、３、４は主に市のほうで協議をすすめ、その経過を随時みなさまに報告しご意見をいただきたいとしている項目になります。

まず課題の２、関係団体との協議になります。

文化会館跡地の利活用に関しまして、駅前全体との調和を図るうえで、周辺事業等との協議を図る必要があると考えています。想定される協議内容といたしまして、駅前全体における、それぞれの団体の協力体制の構築について、東武のバス駐車場の利活用の是非について、旅館組合所有の建物の今後について、これらの事項に関して協議を進めてまいりたいと思います。

次に課題３つ目は、藤原図書館の取り扱いについてです。

藤原図書館は老朽化が進んでいる状況にあります。今後利用者の意向も踏まえながら、あり方の検討が必要になってまいります。この課題に対する当面の取り組みとしましては、劣化状況の把握、及び対応策の検討、施設が使用不可となった場合の代替サービスの検討、駅前活性化における図書館の位置づけの検討、これらのことを行ってまいりたいと考えています。

最後に課題の４つ目は、観光情報センター、公衆トイレの取り扱いについてです。

駅前の活性化には、これらの施設が持つ機能を残していくことを前提としますが、ハコモノの方向性について検討が必要になります。この課題に対する当面の取り組みといたしましては、まず、駅前における各施設の位置づけの検討、躯体の状況や必要な機能の把握、これらのことを行ってまいりたいと考えています。

以上の点を踏まえながら鬼怒川温泉駅前の整備について具体的な取り組み方を整理し、第１０回の部会にてお示ししてまいりたいと思います。以上で資料の説明を終了させていただきます。

議事内容**部会長**

はい、ありがとうございます。事務局の説明に対しまして、みなさんのほうからご意見でございますでしょうか。

部会員A

課題2の関係団体との協議ですけど、「旅館組合所有の建物について」と書いてあるんですけども、この協議はあくまでもこの委員会とは別に組合と行政でやるという形で考えてよろしいですか。

事務局

おっしゃるとおり、課題2から4までは個別に協議をしたうえで、この委員会にご報告を差し上げてくださいと想定しています。まずこの委員会にご了承を得たうえで、具体的な協議のスケジュール等を整理していきたいという考えでございます。

部会員A

スケジュールの話になるんですけども、今年度、来年度くらいまでを予定している感じですか。それとも、今年度で調整という感じですか。

事務局

すぐには決められなくて、今年度中にざっくりとした方向性というものの合意形成を図っていきたくて考えているところなのですが、ある一定の事業費がでてくることなので、なかなか決定までは、難しいかなと、ざっくりとしたこういうスケジュールで、お互いどういう方向性で今後協議していくかというまでは今年度に整理したいと考えておまして、そのあと具体的にどうするのか、新しいハコを作ろうかというまでは、なかなか今年度は答えられない、難しいかなと考えております。

部会員A

一応個人の建物なので、組合員といろいろ協議しないとということで大変だと思うんですけども、これはこれでスケジュールを立てていただいて、打ち合わせしたいということであれば、していただければよろしいかなと思いますので、よろしく願いいたします。

部会長

はい、ありがとうございます。他にございますか、よろしいでしょうか。それではアドバイザーの先生から、山本先生お願いします。

山本アドバイザー

課題がでてきたんで、課題1と課題2に関しては、前向きな形で関係団体の方とかと協議してもらいたい。なるべく市民のかたが使えるものってなかなか難しいんですけど、新しい取り組みをしないと難しいかなと思う。関係団体との協議、やっぱり大きく影響する。西尾さんが言われた通り、ある程度スケジュールを示さないとなかなか難しいかなと。

それから藤原図書館については、少し老朽化が進んでいるんでなんとかしなきゃいけない。例えば神奈川県大和市にある「シリウス」という施設、これは人をいっぱい集めている。ここは、図書館ですけど飲食可なんです。図書館なのに飲食ダメではなくて、飲食可なんです。うちの大学の図書館も飲食可、学生が自由に話しながら利用できる。

情報センターと公衆トイレについてはいろいろご意見があるんですけど、公衆トイレについてはLGBT、多様性を考えていかなくはいけない。大きいところ、小さいところ、一緒にやっていかなくはいけない。

部会長

はい、ありがとうございます。西尾先生、お願いします。

西尾アドバイザー

私も同じような視点なんですけれども、今の課題1の方向性というのが、すでに鬼怒川温泉に訪れた観光客に「何が足りないですか」と聞いていることが基になっているので、すでに来ている観光客

議事内容

にとつての足りないものを補っていくというような視点に見えるんですけども、こちらに来ていないような新しい観光客を引き付けるとか、観光の目玉になっていくような、そういった新しいものを入れていく、考えていくという発想が必要かなという気がしました。

なかなか、豪華な施設をつくるということではできないとしても、色々ソフト的な工夫を含めて新しい観光のユニットとなるようなものを考えていくという視点が大事かなと思いました。

例えば、課題1のところ、「住民と観光客双方が利用する」という視点、これはすごくいいと思いますけれども、双方が利用するってことをさらに1個進めて、「住民と観光客が交流する」という視点を持つ。最近熱海市がすごく有名ですが、何が観光客を引き付けているかというところ、あそこに行くと住民のかたと触れ合える、非常にいろんなイベントがたくさん開かれていて、あそこに行けば何かイベントに参加できるというのが観光客を引き付けているところがあります。これはソフトな観点ですので、施設の検討と直接結びつかないかもしれませんが、そういった視点もあるというのが大切だと思います。

関係団体との協議というところでは、今、東武鉄道さんで日光M a a Sというのをやっていると思います。M a a Sというのは、チケットのID決裁で、交通バスとか、自由に利用できるという仕組みですけども、本来のM a a Sは交通機関だけでなく、いろんな観光施設とか宿泊施設も1つのアプリで完結できる仕組みだと思いますので、今の日光M a a Sをもう一歩進めた新しいM a a Sを鬼怒川温泉駅を拠点として、今のM a a Sは下今市駅が拠点だと思いますので、そういった新しい取り組みを起点とするアイデアも、もしかしたらいいかなと思います。

東武鉄道さんと観光協会さん、旅館組合さんたちと一緒に取り組むということであれば、いろんな可能性が開けてくるかと思しますので、新しいことを考えながら、施設やサービスを検討していくといいのかなと思いました。

部会長

はい、どうもありがとうございます。それでは、みなさんの方から他に何かよろしいですか。それでは、全体としてアドバイザーの先生からなにかございますか。逆にですね、みなさんの方からアドバイザーの先生に何かご質問等もあれば。

山本アドバイザー

西尾先生がおっしゃった日光M a a Sのような感じで、三崎にみさき切符というのがある。三崎に行って色々な食事をしたり、買い物をしたりする、一食はチケットに入っていて、観光も買い物も楽しめる。すごい人気で、こういうものをこの鬼怒川温泉でできれば、すごい集客できると思う。あとよくあるのは企画展ですが、固定化した企画は一回来たら来なくなってしまう。常に更新して新しい企画ということによって、毎度何回もリピーターが来るみたいなシステムがいいかなと思う。

部会長

みさき切符は、神奈川県とかそういったところで行っているものですか。

山本アドバイザー

市と漁業組合と観光組合と鉄道会社が連携した事業で、三浦海岸で行っているものです。

部会長

はい、ありがとうございます。ここまで皆さんよろしいでしょうか。それではですね、「その他」に入りたいと思います。「その他」のところ、事務局より何かございますか。

事務局

事務局より、次回の会議日程についてご案内させていただきます。本日使用しました資料1、1ページの表にも記載がありますが、今年度2回目、第9回会議は今年の11月を予定しております。なお、詳しい日程につきましては、調整の上、後日ご連絡させていただきます。

議事内容**部会長**

はい、ありがとうございます。
皆さんのほうからございますか。特にないようでございますので、本日の議題についてはすべて終了しましたので、事務局にお返しさせていただきます。

事務局

はい、ありがとうございました。それでは、これをもちまして第8回藤原総合文化会館検討専門部会を終了させていただきます。ありがとうございました。

14:00閉会